

II. 2025年度 千葉地区活動について

1. 千葉地区活動方針

千葉地区 スローガン

目指すは突破 進むは最上 挑戦を楽しむ QCサークル千葉

千葉地区組織の活性化の3要件

1. QCサークル活動の基本理念を踏まえ、人間性尊重の正しい方針の履行。
諸会議、セミナー、諸行事を含めすべての面で質（クオリティ）の向上に取り組み企業に求められている諸法規を遵守する。
2. 報告・連絡・相談などのビジネスルールの徹底により和をもって対話を軸にした組織的運営を行う。
3. どうしたらできるかの視点で実践を重んじる。（知行合一）

千葉地区組織の運営方針

1. 企業派遣幹事の会社人事を受容し、前例のない体制を組み地区の総合力で2025年度の運営に当たる。業務遂行の円滑化のために組織体制のスリム化や委員会組織の見直しを行う。
2. 千葉地区は、日本科学技術連盟内のQCサークル本部と同関東支部傘下の一地区として、この全国運動の千葉県における責務を遂行するために、その関係性を十分に認識して組織運営を進める。
3. 幹事会社と地区との関係性強化のために、情報発信や必要な活動に取り組む。
4. 幹事会社へのリターンとして派遣幹事の品質管理専門家としての幹事力向上を図るとともに、ボランティア幹事を含め幹事自身の人間力の向上や、自己実現に寄与するような達成感が得られる組織運営を進める。
5. 幹事の責務を明確にして組織運営を進める。幹事会社派遣幹事の責務は、当該企業を代表して企業のブランド戦略と地域貢献活動を担う業務ミッションとして地区幹事業務に取り組む。
幹事会社派遣幹事の任期は、当該企業の人事政策を反映して地区はその決定を受容するだけなので、各幹事の経験年数やスキルの蓄積は地区の管理外となる。一方、ボランティア幹事の任期は、各幹事の判断で決するため幹事履歴やスキルの蓄積は可能である。ボランティア幹事自身の自己啓発や社外人脈構築と勉学の場としてご参加することとする。こうした相互補完の関係を踏まえ、全国的に類例を見ない組織運営を進めることとする。
6. 各種セミナーや諸行事は開催自体を通じ、講師の内製化と運営経験の蓄積が可能であり、幹事力向上に欠かせないとの認識でいかに開催するかとの視点で取り組む。
7. 千葉県内での小集団活動と品質経営の普及と促進に照らし、幹事会社、行事参加企業が期待しているセミナーや諸行事は何かを常時探究しながら地域密着の活動を進める。
8. 関東支部内で長年唯一、関東支部の支部長会社を輩出していない千葉地区は関東支部各地区にそれなりのご負担をおかけしていると認識するが、その反面、他地区には見られないQCフロンティア（未開拓分野）の研究で、改善活動の現場支援を目的にして、新たなQC手法やメソッドの開発（層別図解法やことばのデータ活用法など）を通じ、QC界に活動全般の活性化につながる情報発信の実績を積んできたことは、当地区のオンリーワン地区を目指すとの従来からの志の一つである。今後もこうしたQCフロンティアとしての成果の普及と新たな課題の研究開発を継続していく。
9. 幹事力向上のための人財育成、エントリー層への先行投資、QCフロンティア（未開拓課題）への研究などは、千葉地区の成長戦略そのものと位置付けてオンリーワン地区としての組織運営を進める。